



代表取締役 石原 保志

脚下照顧 きゃっかしょうこ

他人に理屈を言う前に、自分自身を見つめ直そう

玄関の履き物を揃えるということですが、すぐに慌てて先に目をやるのではなく、しっかりと自分の足元を見つめ、心を込めて丁寧に生きることが大切だという禅の教えです。



Facebookも
見てね！

ビジネスシーンで役に
立つ四字熟語を毎週お
届けしています！

皆さまこんにちは。

爽やかな秋晴れの空を見上げ、「天高く馬肥ゆる秋」とつぶやいてしまう今日この頃。

日本ではおだやかな気候に、馬も食欲を増し太る季節、という例えですが、由来である中国の故事は、空が高くなって秋めいてくると、騎馬民族が肥えた馬にのって侵略しにやって来る。敵襲に警戒せよ、という意味だそうです。

ウクライナ・ロシア戦争、繰り返される北朝鮮のミサイル発射、中国の台湾進攻など、我が国の周りでも、きな臭い気配がしてきました。終戦後、これほど世界情勢が不安定なことはなかったと思いますし、今後何が起きてもおかしくない時代になってきたと感じます。

30年ぶりの円安、物価の高騰など、日本経済の低迷も懸念される中、これまで以上に経営のアンテナを大きく広げ、世界を注視しなければならないと思います。

話題は変わりますが、皆さま「伝え方が9割」という本をご存知でしょうか。

自分のやりたいことや考えを上手に伝え、相手から「Yes」をもらうことで人生が思うように進んでいく。

そのための技術が書かれており、伝え方で人生の9割がうまくいくという内容です。

社内をよく見かける光景として、ただ「この書類お願いします」と言うだけか、「〇〇さん、いつもありがとね。この書類お願いできますか」と言うかの違い。日常、言葉一つで変わることが本当にたくさんあります。

人に頼み事をする際は、お客様はもちろん、同僚や部下、そして家族にも、一工夫を意識してみたいと思います。結果として、自分自身の業務も間違いなく円滑になるはずです。

戦争以外にお互いに共存共栄をはかる道、各国の外交に期待しつつ、私たちもステークホルダー、社員に対してより良い関係性を築いていきたいものです。

プチ
コラム

秋色で コミュニケーション力UP

秋の色といえば、オレンジ、茶色、紫…果物や紅葉から連想する暖色系が多いですね。そんな秋色でもある「黄色」「オレンジ色」「茶色」は、職場でのコミュニケーションを円滑にしてくれる力があるんです。身に着けたり、身の回りに置いて色のパワーをいただきましょう。

黄色

相手の「緊張感をほぐす」色

「黄色」を身につけると、周りの人には「明るく楽しい人、守ってあげたい人」「無邪気な人」という印象を与えます。自分自身も明るい気持ちになり、ちょっとおしゃべりになったりもします。

身に着けるのが難しい場合には、ペンやメモ帳、付箋など、小さめの文房具に取り入れれたりしてみましょう。

オレンジ色

コミュニケーション力をUPさせる色

「オレンジ」は、身につけていると「明るく元気、親しみやすい印象」を与え、「人を引きつける」色でもあります。「注目して欲しい時」「楽しくコミュニケーションを取りたい」時に身に着けると、効果があります。

茶色

「安心感・温もり」を感じさせる色

「茶色」は周りの人に「安心感・信頼感・温かさ」を感じさせたり、自分自身が「気持ちを落ち着かせたい・安らぎたい」時に力を貸してくれます。

身に着ける時、顔のすぐ側に持つと、顔をくすませたり、老けた印象になることがあるので、ボトムに取り入れるなど、顔から少し離れた方が良いでしょう。革小物もオススメ。

教えて社長!



TP Membership 会員様
誌面インタビュー

第5回

自社の持続発展の取組み

第5回目の誌面インタビューは当社とは2009年（前アーケインターナショナル フラワー事業部）から14年のお付き合い、研修やホームページでサポートさせていただいている株式会社オールデコの奥田幸枝社長にお伺いしました。

店舗ディスプレイを中心に、講演会のスタンド花や観葉植物を含めたフラワーギフトを手掛けられています。今も、週3回は朝5時に日本一の花市場と言われる大田市場に買い付けに行かれています。コロナ禍における事業への影響や今後の展望について、ズバリお伺いします！

INTERVIEW



株式会社オールデコ
代表取締役 奥田 幸枝様

創業

2015年9月

所在地

横浜市港北区富士塚 1-22-13

tel / fax

tel: 045-401-8796 / fax: 045-423-6628

事業内容

【フラワー事業】

- ・生花による花束、フラワーアレンジメントの制作、販売
- ・胡蝶蘭、観葉植物など鉢物の販売
- ・季節、イベントなどの企画商品の制作、販売

【ディスプレイ事業】

- ・店舗、商業施設などにおけるウインドウ及び店内のディスプレイの企画、施工
- ・各種イベント、季節のディスプレイ装飾

モットー

株式会社オールデコは平和で幸せな空間を作り続けます

まず現在の事業内容についてご紹介ください。

店舗のディスプレイ、主に飲食店とホテルを中心に、横のネットワークでイオンさんやカインズさんの店舗装飾も手掛けています。

コンセプトに基づいたディスプレイのコーディネートなどもしています。例えばモデルハウスなど。パーツの選定から配置をデザインする仕事です。



また、定期的には会社の受付花や介護施設などのカウンターに置く生花をお届けしています。今は、クリスマスリースの製作もひと段落、今月後半には店頭にも並びますよ。

ところで、どうしてこのビジネスを始めようと思ったんですか？

そもそも新卒で八芳園に入りました。はい、庭園が有名で、結婚式の会場としても有名なところですよ。接客をしていましたがもっと製作というか、作業仕事がしたくて広告代理店に転職します。本当は製作に携わりたかったのですが進行に配属。でもここで非言語を言語化することを学びました。ふわっとした伝え方をいかに具体的にするかというのは、今の仕事に役立っています。この時に、ダブルワークをしていて、土日は花屋でバイトを。そしたらこれが楽しくて！花屋さんに転職します。その後23歳で独立しました。その後紆余曲折があったものの、7年前に2度目の独立をし、今に至ります。お花に携わる仕事自体、もう30年近くしていますが、まったく飽きることはありませんね。

さて、現状の景況感はいかがですか？

コロナでイベント、結婚式が激減。飲食店もまだ戻ってきているとはいいがたいですね。

これまでは忙しく働いてきましたが、以前より日本の植物について学びたかったので、この機会に「和ハーブフィールドマスター※」という資格を取得しました。年を取ってからも楽しめる趣味の1つになるかな、という思いも。

散歩するだけで季節ごとの植物が楽しめるし、話のネタにも事欠きません。

業界としては、やはりコロナの影響で生産者も減産したり辞めたりしたので、仕入れが難しくなっているのが続いています。造花も原材料の高騰や中国やベトナムからの流通が難しい状態

があります。

当社としては戻ってきた感はあるけれど、これは同業他社が辞めてしまったのも一因です。あまり歓迎できない戻ってきた感ですよね。今年はハロウィンも今一つ盛り上がっていないと思いませんか？



自然素材を合せた
ディスプレイ

※和ハーブフィールドマスター

「和ハーブ」とは、古来日本人の生活や健康を支えてきたハーブのこと。正確には、江戸時代以前より、日本各地で有用されてきた植物、及びその文化・歴史を指します。

和ハーブフィールドマスターとは、単に植物ガイドに留まらず、屋外で観察できる野生／栽培種の和ハーブについて見分け・生態・その他の特徴を説明できるとともに、その有用性の内容（利用の仕方、機能性、歴史など）を“面白く分かりやすく”案内できるスペシャリストです。

「花」を扱う難しさを教えてください。

やっぱり生きものですから、一つとして同じ花はないところですかね。枝ぶりとか大きさとか。心がけているのはこまめな仕入れです。

でも、同じ作業であっても、造花で作っていると疲れるんですよ。生花の方が重いのに、やっぱり生きているからエネルギーをもらえるのかな。疲れ方が違います。

それから、私自身、この業界で30年近くやっていますが、あれ、この季節ならこの花が入っているはずなのに、なんてことが最近結構ありますね。気候変動の影響でしょうか。

ディスプレイやギフトを通じて伝えたいことは何でしょう？

当社のモットーにあります。逆に言えば平和じゃないと花の商売は成り立ちません。花を愛でられる時間を持てることって、本当に大事だと思うんです。そんな時間や空間を味わってほしい。伝えたいことは、ラブ&ピースです。

そうそう、目に触れるところの25%がグリーンだとリラクセスできると言われていました。オフィスにいかがでしょうか？もちろん、本物のグリーンがあれば言うことなしですが、フェイクでも、グリーンウォールでも良いので、ぜひお試しください。



店舗ディスプレイの
グリーンウォール

今後の展望をお聞かせください。

私の目標の一つ、海外で働きたい。コロナがなければ今頃イギリスにいたはず（笑）

2015年の切尔西フラワーショーに、石原和幸さん（緑の魔術師と呼ばれる庭園デザイナー）のチームに入り、制作に携わったことがきっかけになりました。なぜイギリスかって？世界的なガーデンデザイナーであるダン・ピアソンさんと働きたいから。まあ、もう少し先になるでしょうか。それまでは日本で頑張ります！



奥田社長、お忙しいところ
ありがとうございました！

インタビューを終えて

After the interview

本当に毎度感じるのが、気配りの上手さと些細なことにも気づく力。オフィスのレイアウトや置いてあるものが変わっていると必ず「いいね」とコメントをしてくれます。繊細に物事をキャッチする感性が、美しいディスプレイやお花のアレンジに反映されるんですね。

そして何より、やると決めたらやり通す力。たとえるならフィールドに咲く力強い花でしょうか。イギリスで活躍する日も近いことでしょうか！



次回のインタビューもお楽しみに！

人との関係性が円滑になる

MBTI

社員の定着率向上のために、本人の性格や適性を知ることが重要です。MBTI は、年齢や立場の変化に結果が左右されない、その人の本質が分析できるツールです。

MBTIとは ユングのタイプ論を元にした、世界 45 カ国以上で活用されている国際規格に基づいた性格検査です。

個人をタイプに分類したり性格を診断することが目的ではなく、回答した個人一人ひとりが自分についての洞察を深め、自分のベストフィットタイプ（もっともしっくりくるタイプ）を見つけ出す過程そのものを重視しています。

円滑なコミュニケーション、
人の心の成長に有効です！



人材の定着・育成に最適です！

若手社員の利殖防止や定着率向上、人材育成の研修としても有効に活用できます。トライブラニングでは、日本 MBTI 協会認定の専門家による受講ができます。

お気軽にお問い合わせください。

体験型をお気軽にお試しいただけます。

日本 MBTI 協会認定 MBTI ユーザー
(MBTI 専門家) 上野佳子氏



9月の
セミナー報告

離職防止・次世代育成の施策セミナー



今回は多くの方にご参加いただき、ありがとうございました。
1 回目は初めての対面とオンラインでのハイブリット形式で開催。
少しずつ、リアルでの交流が図れる機会を増やしていきたいと思います。

上記の上野氏によるセミナーでは、厚労省の推進するセルフ・キャリアドッグ制度についてご紹介しました。時代は進み、働き方に関する法制度も新しくなり世代間ギャップも生まれる中、社員の離職防止や育成施策を全て自社でまかなうことはなかなか難しい企業様も多いのでは。

そんな時にはキャリアコンサルタントを活用したキャリア面談の実施など、お気軽にご相談ください。

NEW

Membership

会員様のご紹介



新たにご入会いただいたメンバー様をご紹介します。

Asahi Housing 株式会社旭ハウジング様

事業内容

- ・新築分譲事業全般
- ・建築の企画、設計、デザイン、建設
- ・不動産の売買
- ・リフォーム、アフターメンテナンス

設立

1989 年 11 月

所在地

横浜市青葉区新石川 2-3-8

代表取締役

中倉 孝博

WEBサイト

<https://www.h-asahi.co.jp/>



「日本木造分譲住宅協会」の会員として、SDGsをはじめ、日本の森林問題・環境問題を、国産材の利用を通じて解決する取り組みも行っています。

「分譲住宅の供給を通して ひとりでも多くのお客様に豊かさを」

横浜市たまプラーザ駅に本社を構えて 30 年。用地仕入れから、設計・宅地開発・建築・アフターサービスまで、ワンストップで戸建て分譲住宅の提供を行っています。ケイアイスター不動産のグループ会社として、グループ全社で日本一の供給棟数を目指し積極的に営業エリアを拡大中です。

「今も、未来も」家族のライフスタイルにフィット。



変化に合わせて部屋数を変えられる間取りや、家族が自然とコミュニケーションを育むことができる間取り、安心のアフターサービス等、毎日の暮らしを豊かにする工夫がいっぱいの分譲住宅を提供しています。

中の人 つぶやき

Google で「犬」や「トラ」と検索して 3 D 表示すると、リアル画像の動物が空間に出現する機能で先日盛り上がりました。他にも Google 検索の面白い仕掛けを調べたら結構あるんですね。「斜め」「一回転」「バックマン」などなど、検索してみるとちょっと面白いですよ。

「Google 隠しコマンド」と検索すると色々できます